

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 5 月 7 日

評価対象事業	文観	-	18	観光協会支援事業				☐ 法定受託事務	
所管課	観光課				評価者	観光課長 中澤 準			
一般	会計	款	40	項	05	目	10		
総合計画上の位置付け	分野名	観光			施策の方針名		観光振興の推進		

1 事業の目的

対象	鎌倉市観光協会・観光客等	意図	様々な主体のネットワークの中心となり、観光宣伝と観光客誘致を行う鎌倉市観光協会の支援を図るため。
効果	観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につなげる。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	鎌倉市観光協会運営費等補助金	鎌倉市観光協会運営費等補助金	鎌倉市観光協会運営費等補助金
予算額（千円）	51,881	54,356	
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	51,881	54,356	0
当初人員配置数	0.1	0.1	0.0
人件費（千円）	854	883	0
事業実績	鎌倉市観光協会運営費等補助金		
決算額（千円）	51,881		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	51,881	0	0
人員配置実績数	0.1	0.1	0.0
人件費（千円）	828	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						（上段実績、下段経費（千円））		
活1	指標名	薪能の参加者数	人	700	⇒	700		
	実績につながる活動	鎌倉3大行事の1つである薪能を実施するため、運営費の補助を実施した。				12,613		
活2	指標名	鎌倉まつりの参加者数（延べ人数）	万人	2.5	⇒	2.5		
	実績につながる活動	鎌倉3大行事の1つである鎌倉まつりを実施するため、運営費の補助を実施した。				6,927		
活3	指標名	鎌倉花火大会の参加者数	万人	16	⇒	未開催		
	実績につながる活動	鎌倉3大行事の1つである花火大会の開催準備を行った。				21,793		
活4	指標名	観光協会運営費等補助金額	千円	46,576	⇒	51,881		
	実績につながる活動	鎌倉市観光協会の運営や鎌倉まつり、薪能等の事業に対する支援を行った。				51,881		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	天候
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	薪能及び鎌倉まつりは、特段運営に問題もなく、初期値同様の人数であった。鎌倉花火大会が天候不順により中止となったことから、昨年度よりも減少した。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1								

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	鎌倉3大行事(薪能、鎌倉まつり)を着実に実施することで観光協会の認知度が高まりとイメージアップにより、施策指標の観光協会の加入会員数の増加に直接つながることから、アウトカム指標を設定することはなじまない。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出ていない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
		関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
	公平性	受益者負担	☐ 導入済	☐ 導入予定	☒ 導入できない

		評価実施年度の方向性	⇒	評価実施翌年度以降の方向性			
方向性	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他	事業へ統合
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する			
今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応		結果		具体的な内容		
	前年度の新たな課題への対応結果		前年度は新たな課題なし				
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たに認識された課題はなかった				
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		新たに認識された課題はなかったため検討なし				
	総評	観光協会は既存の公益事業である鎌倉3大行事を行っているが、新たな収益事業に十分な取り組みができていない。今後、観光協会の安定的な運営と経営強化が図られるよう、観光協会と協議していく。					上位施策への寄与度 A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項	入込観光客数（上段：令和6年・下段：令和5年） 単位：千人								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	15,942	20,401	2,313	7,524	8,381	10,320	601	840	4,514
	12,284	19,608	2,813	6,921	8,326	8,911	638	853	4,709
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	県内全市町村が実施している入込観光客調査において、鎌倉市は県内5番目であり、様々な観光のネットワークの中心となる観光協会への支援を通じて観光客の利便性向上に寄与出来ていると考える								